

クロスカントリー委員会

国際競技規則 (ICR)

302 競技役員 (The Competition Officials)

302.1 競技役員の任命(Appointment of the Competition Officials)

302.1.1 国際スキー連盟 (FIS) 任命役員は、(FIS Appointed Officials are)

- ・ 冬季オリンピック大会 (OWG) 、および世界スキー選手権大会 (WSC) : 技術代表 (TD) 、アシスタントTD、指名ジュリー、FIS レース・ディレクター (RD) 、FISレース・ディレクター・アシスタント (RDA)
- ・ ワールドカップ (WC) : TD、アシスタントTD、FIS レース・ディレクター (RD) 、FISレース・ディレクターアシスタント(RDA)
- ・ ジュニア世界スキー選手権大会 (JWSC) : TD、アシスタントTD、指名ジュリー1名
- ・ コンチネンタル・カップ (COC) およびFIS大会 : TD
- ・ ローラースキー世界選手権大会(ROL WSC)およびROL ワールドカップ(WC) : TD、アシスタントTD、FISローラースキー・コーディネーター
~~FISレース・ディレクター・アシスタント (RDA) は、投票権を持たないジュリーがなり、レース・ディレクター (RD) 不在時にRDの役目を務める。~~

303.1 ジュリー・メンバー (Members of the Jury)

303.1.1 冬季オリンピック大会 (OWG) および世界スキー選手権大会 (WSC) では、次の役員がジュリーの任務に付く。

- ・ ジュリーの長を務めるTD (FIS任命)
- ・ アシスタントTD (FIS任命)
- ・ 競技委員長 (FIS理事会の承認を条件とする)
- ・ 開催国以外から選出された2名のメンバー (FIS任命)
- ・ FISレース・ディレクター (FIS任命)
- ・ FISレース・ディレクターアシスタント(FIS任命)

上記の役員は、FISクロスカントリー委員会の推薦を受けFIS理事会により任命される。

303.1.2 WCではジュリーは以下のように構成される :

- ・ ジュリーの長を務めるTD (FIS任命)
- ・ アシスタントTD (FIS任命)
- ・ FISレース・ディレクター (FIS任命)

- ・ FISレース・ディレクターアシスタント (FIS任命)
- ・ 競技委員長
- ・ NTDA (地域TDコーディネーターと相談の上、開催国スキー連盟が任命する)

303.1.5 EYOFおよび冬季アジア大会 (AWG) ~~およびローラースキー世界選手権WSC~~では、
 ジュリーは次のように構成される：

- ・ ジュリーの長を務めるTD (FIS任命)
- ・ アシスタントTD (FIS任命)
- ・ 競技委員長
- ・ NTDA (地域TDコーディネーターと相談の上、開催国スキー連盟が任命する)

303.1.6 ROL WSCおよび ROL WC、COC競技会においては、ジュリーは次のように構成される：

- ・ ジュリーの長を務めるTD (FIS任命)
- ・ 競技委員長
- ・ FISローラースキー・コーディネーター (FIS任命)
- ・ アシスタントTD (ローラースキー・オフィシャルサプライヤーがいるWC ROL大会に限りFISが任命)
- ・ NTDA (地域TDコーディネーターと相談の上、開催国スキー連盟が任命)

303.1.67 COCとFISレース、ローラースキーのWCとのFISレースでは、ジュリーは次のように構成される。

- ・ ジュリーの長を務めるTD (FIS任命)
- ・ 競技委員長
- ・ NTDA (地域TDコーディネーターと相談の上、開催国スキー連盟が任命する)

321.7 競技中断 (Competition Interruption)

選手がまだ競技中にレースが中断した場合、そのレースはキャンセルとなる。

322.7 競技中断 (Competition Interruption)

選手がまだ競技中にレースが中断した場合、少なくとも6位までの順位が確定していれば、そのレースは有効とする。中断時にまだコース上にいた選手についてはそれぞれが最後に通過した中間点の順位に従い、周回遅れとしてファイナルリザルトに記載される。

323.7 競技中断 (Competition Interruption)

選手がまだ競技中にレースが中断した場合、少なくとも6位までの順位が確定していれば、そのレースは有効とする。中断時にまだコース上にいた選手については、それぞれが最後に通過した中間点の順位に従い、周回遅れとしてファイナルリザルトに

記載される。

324.7 競技中断 (Competition Interruption)

選手がまだ競技中にレースが中断した場合、少なくとも6位までの順位が確定していれば、そのレースは有効とする。中断時にまだコース上にいた選手については、それぞれが最後に通過した中間点の順位に従い、周回遅れとしてファイナルリザルトに記載される。

325.5.3 決勝 (Final Heats)

325.5.3.1 準々決勝および準決勝において、選手の順位は次の順序で確定される：

- RAL(Ranked as Last=最下位)、DNF、DNS、NPS(Not permitted Start=出走不可)と言ったコードの無い選手は、到着順に最初に記載される。同着の場合、選手の順位は予選タイムの良い順に決定する。
- RAL、DNF、DNS、またはNPSのいずれかのコードのある選手は、予選タイムの良い順に記載される。

~~準々決勝、または決勝Bを実施しない場合は準決勝において、同順位でも敗退した選手は、予選タイムに基づき最終リザルトへ順位付けられる。~~

325.5.3.2 決勝と決勝Bでは、選手の順位は次の順序で確定される：

- RAL(Ranked as Last=最下位)、DNF、DNS、NPS(Not permitted Start=出走不可)と言ったコードの無い選手は、到着順に最初に記載される。同着の場合、選手は同じ順位とする。
- RAL、DNF、DNS、またはNPSのいずれかのコードのある選手は、予選タイムの良い順に記載される。

~~準々決勝を30人の選手で競うスプリント競技では、リザルトは次のように作成される：~~

- ~~→ 31位～最下位: 予選ラウンドの記録によって決める。~~
- ~~→ 26位～30位: 準々決勝の各組6位の選手が該当し、順位は当該選手の予選ラウンドの記録を基に決定する。~~
- ~~21位～25位: 準々決勝の各組5位の選手が該当し、順位は当該選手の予選ラウンドの記録を基に決定する。~~
- ~~→ 16/17位～20位: 準々決勝、各組4位の選手が該当し、順位は当該選手の予選ラウンドの記録を基に決定する (タイム計測をする場合、当該選手の中から準決勝に進む可能性がある)。~~
- ~~→ 13位～15/16位: 準々決勝各組の3位の選手で準決勝に進めなかった場合、順位は選手の予選ラウンドの記録を基に決定する。~~
- ~~→ 7位～12位: B決勝のフィニッシュ順により決める。B決勝を行わない場合は、~~

~~準決勝と予選の記録を基に決定する。~~

~~1位～6位: A決勝のフィニッシュ順により決める~~

325.5.3.4 ファイナルリザルト

選手のファイナルリザルトの順位は、次の順序で確定される:

決勝と決勝Bに残った選手は、到着順にリザルトの最初に記載される。同着の場合、選手は同じ順位とする。

決勝Bを実施しない場合、準決勝で決勝へ進めなかった選手は、以下の順序で順位を決定する:

- RAL(Ranked as Last=最下位)、DNF、DNS、NPS(Not permitted Start=出走不可)と言ったコードの無い選手は、各選手が出走したヒート内の順位および予選タイムに基づき、最初に記載される。
- RAL、DNF、DNS、NPSいずれかのコードのある選手は、各選手が出走したヒート内の順位および予選タイムに基づき記載される。

準々決勝で準決勝へ進めなかった選手は以下の順序で順位を決定する:

- RAL(Ranked as Last=最下位)、DNF、DNS、NPS(Not permitted Start=出走不可)と言ったコードの無い選手は、各選手が出走したヒート内の順位および予選タイムに基づき、最初に記載される。
- RAL、DNF、DNS、NPSいずれかのコードのある選手は、各選手が出走したヒート内の順位および予選タイムに基づき記載される。

~~準々決勝又は準決勝で同着の選手が出た場合、予選タイムの良い競技者が上位にランタされる。決勝Aおよび決勝Bで同着の場合は、当該選手は同じ順位として公式リザルトに記載される。~~

325.7 競技中断 (Competition Interruption)

325.7.1 選手がまだ競技中に、予選ラウンドが中断した場合、そのレースはキャンセルとなる。

325.7.2. スプリント競技において、決勝Aで最後の最下位の選手がフィニッシュする前にレースが中断した場合、そのレースはキャンセルとなる。

325.7.3 中断し、キャンセルされたレースがリスケジュールされた場合、予選ラウンドを再度行わなければならない。

326.7 競技中断 (Competition Interruption)

326.7.1. 準決勝の中断時に、まだコース上にチームがいた場合、そのレースはキャンセルとなる。

326.7.2 チーム・スプリント決勝中にレースが中断した場合、少なくとも3チームが

フィニッシュしていれば、そのレースは有効とし、リザルトを発行する。中断時にまだコース上にいたチームについては、それぞれの最後の中間タイムに従い、周回遅れとして（ファイナルリザルトに）記載される。

326.7.3 中断し、キャンセルされたレースがリスケジュールされた場合、準決勝を再度行わなければならない。

327.7 競技中断 (Competition Interruption)

チームが競技中にレースが中断した場合、少なくとも3チームまでの順位が確定していれば、そのレースは有効となる。中断時にまだコース上にいたチームについては、それぞれが最後に通過した中間点の順位に従い、周回遅れとして（ファイナルリザルトに）記載される。

343 選手の責任 (Responsibilities of the Competitors)

343.1 選手は、トレーニング中や競技中はいかなる時でも、コースコンディションや、視界、コースの混雑状況、他選手との間隔、スピード、他選手が向かってくる方向などに注意を払い、行動しなければならない。

343.8.1 ~~インターバル・スタート競技およびスプリント競技の予選では、クラシカル・テクニクのいかなる違反行為（スピード維持または加速させるスケーションダ行為）も、リザルトに影響を与えるものとみなす（スケーションダによりタイムとFISポイントが良くなるめ）。ジュリーは、選手のタイム差にかかわらず、優勝した選手であっても、適切な制裁を課す。~~

343.8.1 クラシカル競技では、ポールの長さが最長で選手の身長83%を超えてはならない。フリー競技では、ポールの長さが最長で選手の身長100%を超えてはならない。

ポールの長さは、ポールの底部からストラップ接続部の最も高い部分までを測る。全ての数値は、次の通り四捨五入して小数点を切り捨てる：0.5cm 未満は切り捨て、0.5cm 以上は切り上げる。

343.9 ~~全ての競技において妨害行為は認められない。故意的な接近、ブロッキング、またはスキー用具の一部を使った体当たりや、押し出し行為は、妨害行為と定義される。~~ 全競技で、原則として選手は他の選手を妨害してはならない。

343.10 追い越し (Overtaking) 追い抜き (Passing of Other Competitors)

343.10.1 ~~インターバル・スタート競技では、他の選手に追い越される場合、最初の要求が~~ あ
~~った時点でコースを譲らなければならない。~~ インターバル・スタート競技での
追い抜き
他の選手に追い抜かれる場合、最初の要求でコースを譲らなければならない。

このルールは、トラックが2セットあるクラシカル用トラックや、フリーテクニクにおいても、選手が追い越される際にスキークレーディング動作を制限しなければ、ならない場合に適用される。

343.10.2 他競技における追い抜き (Process of Passing during Other Competition) 他全ての競技において、追い越しを行う際、選手は如何なる妨害も行つてはならない。追い越す際、支障なく正しく通過する責任は、追い越す選手にある。追い越しを行う選手は、ベストラインを滑る前に、追い越される選手のスキーと接触しない程度まで近づかなければならない。

343.10.2.1 前にいる選手がベストラインを選ぶ権利がある。(1)

343.10.2.2 前にいる選手は、後ろからくる選手を妨害してはならない。(2)

343.10.2.3 追い抜こうとする選手は、追い抜かれる選手を妨害せずに行うこと。(3)

343.10.2.4 選手同士が並走する場合、双方の責任としてお互いの動きを妨害しないこと。(4)

343.10.2.5 追い抜き行為は、追い抜く選手の体が追い抜かれた選手のスキーの先端前
きた時点で完了したと見なす。(5)

343.11 コリドーが示された区間において、選手はコリドーを選ぶ。~~その選んだコリドー内を滑走しなければならない。~~選手は、ICR 343.9およびICR 343.10が維持されている限り、コリドーを変更することが許される。~~この規則は、スタートのコリドーには適用されない。~~

352.1.1.1 制裁を決定する際は次の表を使用する。

